

世界遺産検定
2級学習ツール④
2022.04

① 文化的景観に関する以下の文中の空欄を埋めなさい。

( a. .... ) 年に採択された文化的景観は ( b. .... ) 作り上げた景観を指す概念で、( c. .... ) に分類される。

② 文化的景観の3つのカテゴリーを答えなさい。

( ..... )

( ..... )

( ..... )

③ 世界遺産登録の概念に関する以下の文中の空欄を埋めなさい。

世界遺産リストにおける地域やテーマの不均衡を是正し、世界遺産条約への信頼性を確保するため、1994年に ( a. .... ) が採択された。選考基準の見直しや ( b. .... ) からの登録強化、( c. .... ) に関する遺産や、( d. .... ) や現代遺産の登録強化を挙げている。

④ ③の戦略において、すでに複数の遺産をもつ国に対して求められていること

を2つ答えなさい。

( ..... )

( ..... )



## 2級学習ツール④ 解答 (2022.04)

- ① a.1992 b.人間が自然と共に c.文化遺産

文化的景観は、文化遺産に分類されますが、文化遺産と自然遺産の境界に位置する遺産です。1993年にニュージーランドの『トンガリロ国立公園』で、初めて認められました。

- ② 「意匠された景観」「有機的に進化する景観」「関連する景観」

意匠された景観は、人間によって設計・想像された景観です。有機的に進化する景観は、自然環境に対応して形成された景観です。すでに発達過程が終了している「残存する景観」と、現在も伝統的な社会の中で進化する「継続する景観」に分けられます。関連する景観は自然の要素がその地の民族に大きな影響を与え、宗教や芸術、文学などの要素と強く関連する遺産です。

- ③ a.グローバル・ストラテジー b.世界遺産をもたない国 c.産業 d.先史時代

グローバル・ストラテジーは「世界遺産リストにおける不均衡の是正及び代表性、信用性確保のグローバル・ストラテジー」と言います。登録されていた文化遺産が、西欧の教会や宮殿、石の文化に関する遺産に偏っていたため、不均衡の是正を目標として採択されました。

- ④ 「推薦の間隔を自発的にあけること」「登録の少ない分野の遺産の推薦」「世界遺産をもたない国の推薦と連携」など

地理的・時代的・内容（分野）的な偏りを改善するため、既に遺産を持つ国に対しても考慮が求められています。